



学校の危機管理 大丈夫ですか あなたの学校は



・お問合せ・お申込みは

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

学校の危機管理・大丈夫ですか あなたの学校は

子ども達が毎日安心して通える学校。誰もが安全だと思っている学校生活。しかしこうした考えが今、根底から覆され始めています。いじめや喧嘩、校内での事故、不審者の侵入など、日常の学校生活の陰には思いもよらない危険が潜んでいるのです。予側できない危険が児童を襲った時、あなたは教師として正しい対処ができますか？危機管理という事について、あなたは日頃からどのような対策を講じていますか？この作品は、予側不可能な事故や事件が起きた時に、どのように児童の命を守れば良いのか、学校における危機管理とはどういうものなのか、地域社会とのつながりの必要性について解説します。

1. 授業中に不審者が侵入

授業中の教室。黒板の前で教科書を読んでいると、突然後ろのドアが開き、一人の不審者が入ってくる。不審者は「騒ぐな」と言いながら、懐から包丁を取り出す。驚いて悲鳴を上げて、机から離れる児童たち。不審者は包丁を振り回し、児童たちを追いつめる。一人の児童が腕を負傷して、その場にうずくまってしまった。驚きと恐怖のあまり、何もできずにいる教師、ばらばらに逃げ惑う児童たち。



2. 昼休みの校庭に不審者が侵入

侵入者はいつ、どこから現われるか分からない。しかもその場に教師がいない場合もある。昼休み、児童たちが校庭で遊んでいるとバットを手にした不審者が現われ、近くにいた児童をバットで殴り倒す。それに気がついた児童たちが、悲鳴を上げて騒ぎ出す。バットを振り上げ児童を追いかけてまわす不審者。一人の児童が危険を知らせに職員室へ向かって走り出す。侵入者に追われ、逃げ惑う児童たちで騒然となる校庭。



3. プールサイドに不審者が侵入

プールなどは校庭の隅にあり、職員室から離れている場合が多いため特に注意が必要だ。楽しそうに水泳をしている児童たち。そこへ年配の男性が現われ、フェンスの陰から女子児童の姿をビデオで隠し撮りしている。その姿に誰も気づかない。しばらくして、プールから上がり更衣室に入った女子児童たちが、悲鳴を上げて一斉に出てきた。「先生、中に変な人がいる」更衣室からビデオを抱えた不審者が出て来た。



4. 児童同士の喧嘩

学校では、侵入者以外の危険も考えられる。授業が終わり、教室から教師が出たのを見計らって、別のクラスの男子児童が教室に入ってきた。彼は、一人の男子児童に突然つかみかかった。教室の後ろで二人の児童が取っ組み合いの喧嘩を始めた。別の児童が先生を呼びに、廊下へ飛び出した。教師が慌てて教室に戻ると、喧嘩をはやし立てる児童に囲まれて、二人の男子児童が床を転がまわっている。



まとめ

このような非常時に備え、防犯カメラや非常用ブザーなど設備面を充実させる事は重要です。しかし、いくら近代的な防犯システムを導入しても、それらを的確に使うのは私たち人間です。教職員、学校関係者全員の備えと日頃の訓練、心構えが最も重要なのです。また、校内での「危機対応チーム」と学外の「危機支援組織」が連携し、学校と地域社会が協力して、児童に対してのバックアップ体勢を確実なものにすることも必要です。震災に備えての「全校避難訓練」、児童を保護者に引き渡す「引渡し訓練」も非常時に役立ちます。教師同様、児童たちの日常訓練の徹底も大切です。

不測の事態は100%完全に防げるものではありません。しかし、被害を最小限に食い止めることは出来ます。「備えあれば憂いなし」繰り返しの訓練と研修が、子どもたちの安全な学校生活につながるのです。

協力：君津市立松丘小学校・君津市立周西小学校